

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	にんにく生産拡大事業
事業主体 (連絡先)	花とハーブの里にんにく生産組合
事業区分	農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,987,897 円 (うち支援金: 1,447,000 円)

事業内容

1. 生産先進地視察

青森県田子町 日本一のにんにく生産地 5名参加
28.6.26~27 田子町役場(産業振興課室長)・田子町にんにく
専用CA冷蔵庫・三戸営農センター長を訪問 それぞれの施
設で研修会議を実施した。農家の収穫・乾燥現場を視察。

2. にんにくの生産拡大事業

- ・圃場整備
- ・青森県産にんにく種の購入 444kg 作付面積約 19a
- ・にんにく研修会を2回実施農業改良普及センターと連携
- ・追肥・堆肥・消毒の購入実施

3. 加工先進地視察

- (1)松本市和田 株式会社源氣 H28.11.6
農業改良普及センター・町役場職員を含め 28名参加
にんにくの生産販売・にんにく加工品販売を視察
- (2)三重県伊勢市 三健食品株式会社 H29.2.1~2 6名参加
にんにくの生産・黒ニンニク製造販売を行っている



【組合員の圃場で研修会】

【目標・ねらい】

- ①本場の生産地での栽培ノウハウの取得と、大規模生産の課題・販売商品などを視察する
- ②にんにくの生産拡大
- ③需要急増の黒にんにく加工工場で、どのような大きさ・種類の原料が求められているかを視察する

事業効果

1. 本場の青森の生産地は想像以上にスケールが大きく、収穫時期で作業をしっかり見る事ができた。土壌感触や病害の葉の状態や販売のメニューまで参考になる事が沢山あった。レポートを印刷し組合員に配布した。
2. 組合員数は昨年の27名から33名に拡大した。作付面積は昨年の昨年5アールから19アールに拡大した。
3. 黒にんにくの製造工程を視察した中で、需要の拡大により国産及び輸入にんにくも取り寄せて加工していた。フル稼働が続いており、原料のにんにくが不足していて、青森県産は非常に高額になっている事が分かった。また加工委託の価格交渉を行った。

※自己評価【 A 】

【理由】

収穫は平成29年6月なので結果はまだだが、前年に比べ非常に順調に生育している。本場を見てにんにくの価値評価が分かり組合が非常に熱心に生産に取り組んで勉強している。

今後の取り組み

まずは、安全で美味しく大きさの揃ったにんにくの生産を伸ばすことである。そして、どう販売していくか、流通にのせていくかを煮詰めていく必要がある。次年の種にんにくを確保したうえで、良い物はそのまま出荷と黒にんにくに加工して販売、小さいものは春から葉っぱ付きで出荷、またオリーブ漬け、揚げにんにく等での加工販売する等意見が上がってきている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある